

# WEALTH GROWTH「SAMURAI 25」

## 月間運用実績レポート（2026年1月）

### ■ 1月のパフォーマンス

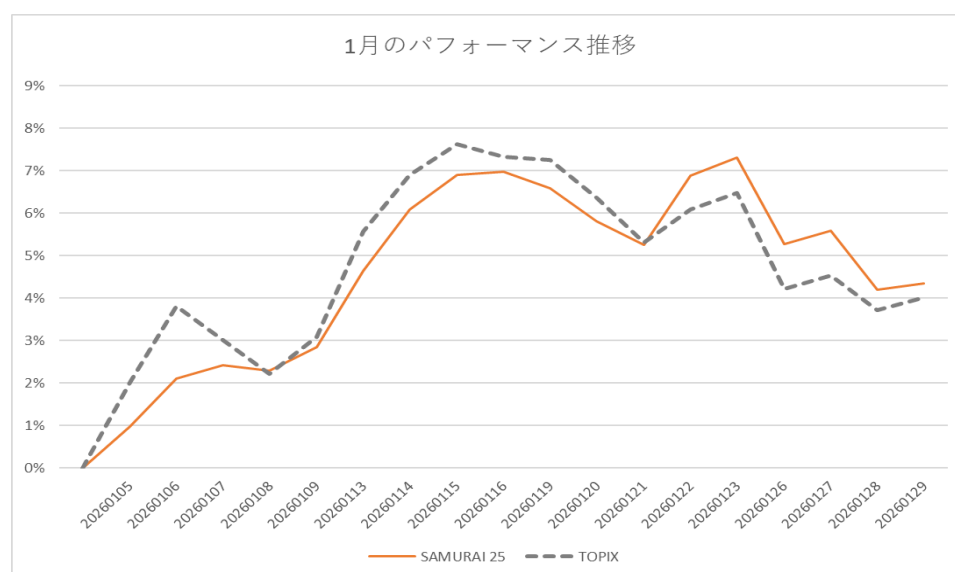
#### ➤ ファンドの月間パフォーマンス

SAMURAI 25	+4.33%
------------	--------

#### ➤ 各指標の月間騰落率

TOPIX	+4.62 %	(配当込み)	+4.62 %
日経225	+5.93 %		
NYダウ	+1.73 %		
S&P500	+1.37 %		
NASDAQ	+0.95 %		

#### ➤ 1月のパフォーマンス推移



	過去1カ月	過去3カ月	過去6カ月	過去1年	設定来
SAMURAI 25	4.33%	16.87%	33.48%	48.78%	207.95%
TOPIX	4.62%	7.21%	22.54%	31.07%	129.62%
超過収益	-0.29%	9.66%	10.95%	17.71%	78.33%

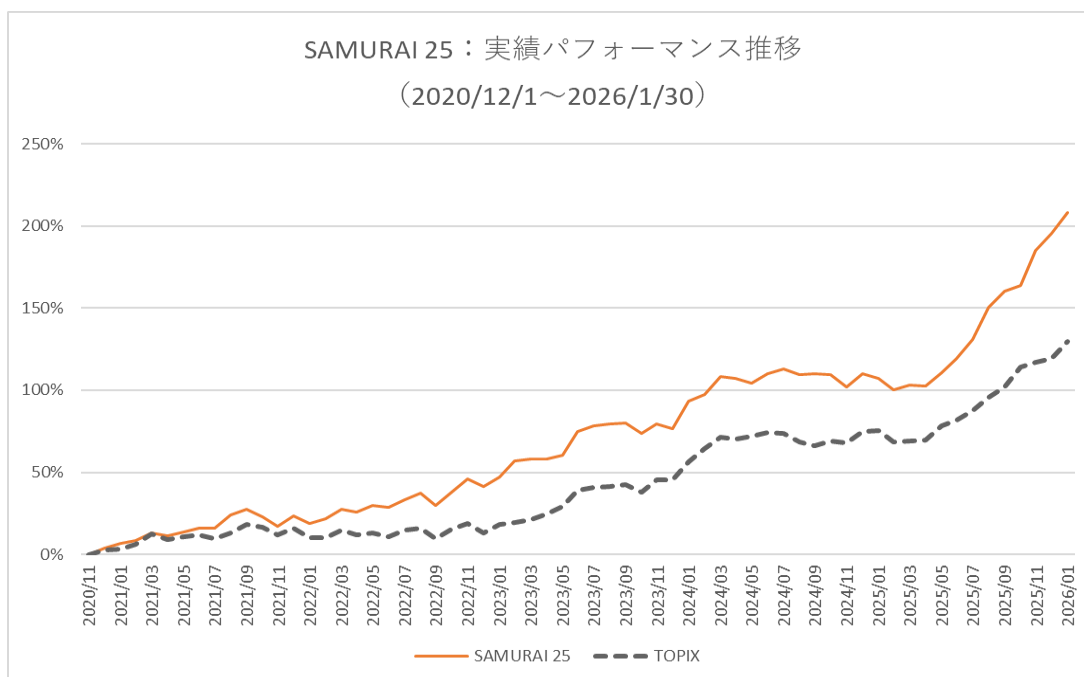
※上記は過去の実績であり、将来の運用成果を保証するものではありません。また、買付手数料・運用手数料・税金・売買コスト等は含まれておりません。

※実際にお客様へご提供したモデルポートフォリオをもとに、配当込みリターンを用いて算出しています。

**SAMURAI 25の1月の運用成績は+4.33 %（配当込み）、TOPIX +4.62 %（配当込み）、対ベンチマーク比で-0.29 %となり、ベンチマークをアンダーパフォームする結果となりました。**

➤ 設定来のパフォーマンス推移グラフ

SAMURAI 25の2020年12月1日（サービス開始）から2026年1月末までの運用実績です。



運用成績	SAMURAI 25	TOPIX
年間リターン(2021年)	18.73%	12.74%
年間リターン(2022年)	14.59%	-2.45%
年間リターン(2023年)	24.43%	28.26%
年間リターン(2024年)	18.72%	20.45%
年間リターン(2025年)	40.72%	25.46%
年間リターン(2026年)	4.33%	4.62%
累積リターン(2020/12-2026/1)	207.95%	129.62%

リターン（年率換算）	24.32%	17.46%
リスク（年率換算）	11.97%	10.64%
下方リスク(年率換算)	5.19%	5.35%
シャープ・レシオ	2.03	1.64
ソルティノ・レシオ	4.68	3.26

※「SAMURAI 25」は、スマートプラスが提供する他の日本株投資一任運用サービスにおいて、すでに運用実績がある投資戦略に基づく運用手法をもとに開発した運用エンジン「+alpha japan」を搭載したサービスです。運用実績には、「+alpha japan」を採用した他の運用商品による2020年12月～2025年7月までの実績が含まれています。

※上記は過去の実績であり、将来の運用成果を保証するものではありません。また、買付手数料・運用手数料・税金・売買コスト等は含まれておりません。

※実際にお客様へご提供したモデルポートフォリオをもとに、配当込みリターンを用いて算出しています。

## ■ 1月の市況概況

### ➤ 日本市場

1月の日本市場は、高市総理による衆議院解散とそれに伴う「高市トレード」の再燃が主軸となりました。積極財政への期待から日経平均株価は史上最高値を更新しましたが、同時に与野党の減税合戦による財政悪化懸念が台頭し、長期金利は約27年ぶりの高水準へ上昇しました。日銀の金融政策決定会合での現状維持と為替介入への警戒感、トランプ政権によるドル安容認発言などが複雑に絡み合い、円相場と株価が乱高下するボラティリティの高い相場展開となりました。

#### ・第1週（1月5日～1月9日）／日経225：+3.18% TOPIX：+3.08%

##### 大発会の大幅高と中国輸出規制の衝撃

大発会の日経平均は、米国株高と円安を追い風に大幅上昇し、好調なスタートを切りました。しかしその後、中国政府が軍事転用可能な品目の対日輸出管理強化を発表したことで、レアアース供給懸念から自動車株などが売られ、反落する場面もありました。週末にかけて、高市総理が通常国会冒頭での解散を検討しているとの報道が伝わると、積極財政への期待から先物主導で株価が急伸。為替市場ではリスクオンの円売りが進み、1ドル157円台後半まで円安が進行するなど、政局の動向が市場を大きく動かす展開となりました。

#### ・第2週（1月13日～1月16日）／日経225：+3.84% TOPIX：+4.11%

##### 日経平均5万4000円台乗せと金利上昇

衆院解散観測が強まる中、積極財政や成長戦略への期待（高市トレード）が加速し、日経平均は史上初めて5万4000円台に乗せました。TSMCの好決算を受けた半導体株の上昇も寄与しました。

一方で、選挙戦でのバラマキ懸念から債券市場では売りが膨らみ、10年物国債利回りは一時2.185%まで上昇しました。円相場は一時159円台まで下落し、輸入物価上昇への警戒感も浮上。市場は株高・金利上昇・円安のトリプル現象に見舞われ、ファンダメンタルズよりも政治的期待先行の相場となりました。

#### ・第3週（1月19日～1月23日）／日経225：△0.17% TOPIX：△0.79%

##### 日銀会合とレートチェック観測による乱高下

日銀は金融政策決定会合で金利据え置きを決定しましたが、植田総裁会見後の円相場の急激な変動（159円台から157円台へ急騰）により、市場では「レートチェック」や介入準備の観測が浮上しました。また、衆院選公約として与野党が食料品消費税ゼロなどを掲げたことで財政規律への懸念が一段と強まり、長期金利は一時2.38%へ急上昇。これが株式市場の重石となり、特にPERの高いハイテク株や、保有債券の評価損が懸念される銀行株が売られる展開となりました。

#### ・第4週（1月26日～1月30日）／日経225：△0.97% TOPIX：△1.75%

##### 米ドル安容認発言と円高進行、半導体株の選別

トランプ大統領のドル安容認発言や米財務相の為替介入否定発言を受け、円相場は一時152円台まで円高が進行しました。これを受けトヨタなどの輸出関連株が売られましたが、アドバンテストなどの好決算銘柄には買いが入り、相場を下支えました。選挙戦が中盤に差し掛かる中、自民党単独過半数の勢いなどが伝わりましたが、市場の関心は企業決算や米

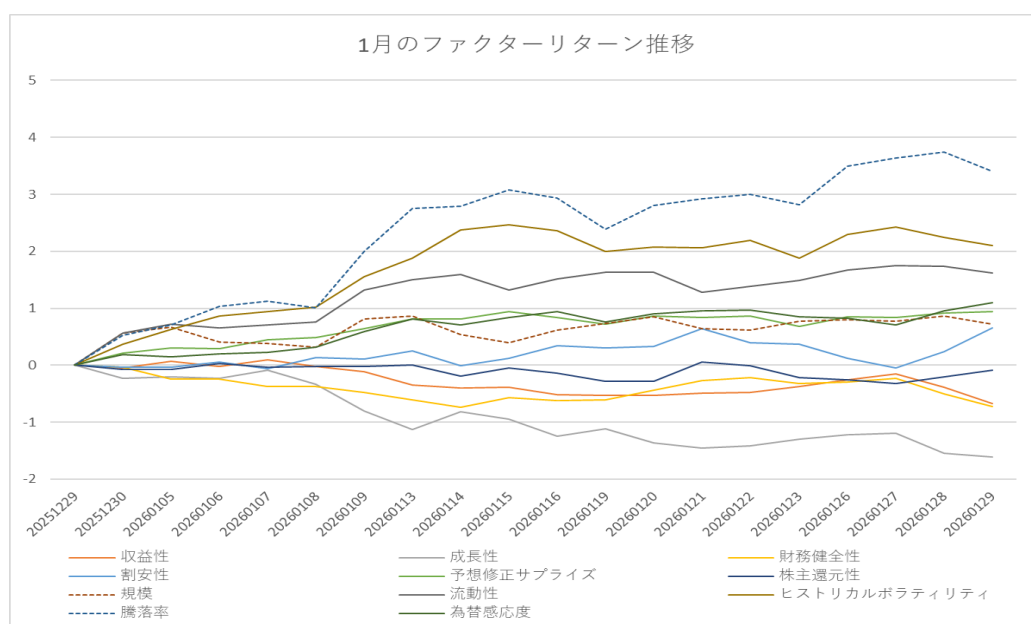
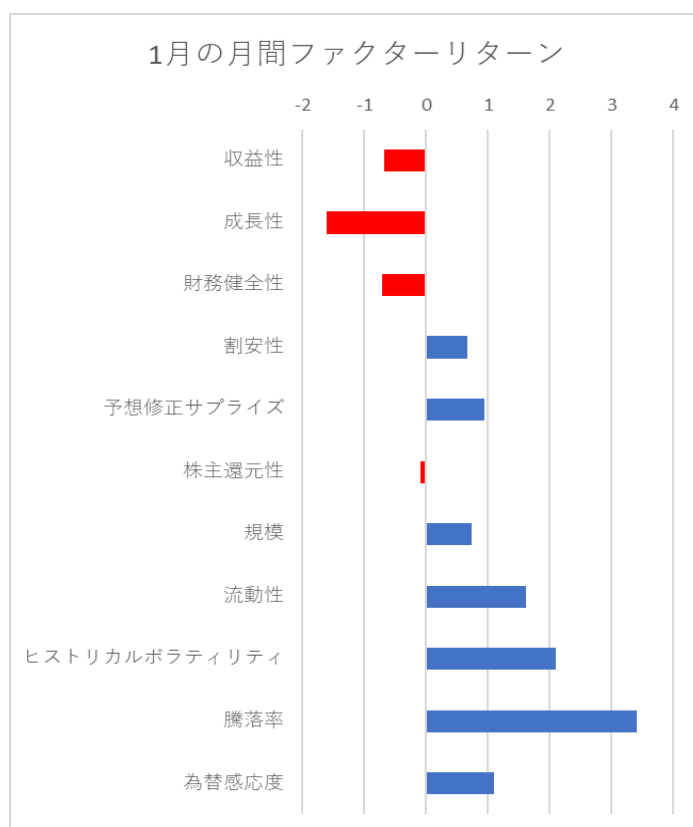
国の動向に移りつつあります。AI需要の強さが確認される一方で、国内金利の高止まりが続いており、上値の重い展開での月越えとなりました。

## 月間パフォーマンスの背景

### ➤ ファクター動向

1月は、上昇傾向が続く好業績の大型バリュー株が堅調となりました。

ファクターの推移を見ても、騰落率ファクター・割安性ファクター・規模ファクター・予想修正サプライズファクターが大きくプラスとなる一方で、成長性ファクター・収益性ファクターがマイナスとなり、昨年 하반기からバリュー株の堅調が続くなか、上昇が続いている好業績の大型バリュー株に資金が向かったことが見て取れます。



➤ ファクター寄与度

そのような市況環境のなか、**SAMURAI 25**は、市場平均であるTOPIXをアンダーパフォームする結果となりました。

SAMURAI 25がTOPIXをアンダーパフォームした要因は、

**SAMURAI 25**が持つバリュー要素の「割安・高配当」特性がプラスに寄与、さらに、市場平均よりも「オーバーウエートしている予想修正サプライズファクター（＝好業績特性）」もプラスに寄与しましたが、グロース要素の「高収益・高成長」特性と「アンダーウエートしているヒストリカルボラティリティファクター（＝低変動特性）」がプラス要因を上回るマイナスに寄与したことです。

新高値更新が続き日本市場全体の割安感が薄まるなか、金利の上昇から益利回りの低い割高銘柄（＝高PER）の調整が進みました。

しかし、その一方で、割安銘柄への物色は続いています。

この動きは、日本市場全体の底上げが行われている状況であり、さらに、市場全体の来期一株利益（＝来期EPS）は上昇すると予想されているため、今年は底上げから、さらなる上振れが期待できるのではないのでしょうか。日本市場は好業績の銘柄も多く、また、株主還元を重視する動きも継続しており、来年3月の決算期に向けて、好業績の割安・高配当銘柄への期待がさらに高まるのではないのでしょうか。

➤ 個別銘柄寄与度

寄与度上位5銘柄

No	銘柄コード	銘柄名	組入比率	寄与度	
1	1961	三機工業	4.2%	0.61%	
	三井グループの総合設備工事会社。空調設備を中心に、電気、給排水、衛生などの建築設備、さらには環境システム（水処理・廃棄物処理）や搬送システムを手掛けています。2026年3月期の業績見通しを上方修正しました。資材高騰への対応が進み、建築設備事業の利益率が向上したことが要因です。				
2	5857	AREホールディングス	4.6%	0.57%	
	貴金属リサイクル（金・銀・プラチナ等）の最大手です。歯科、宝飾、半導体業界から回収したスクラップからの精錬や、産業廃棄物の中間処理を行う環境保全事業を展開しています。2026年2月3日に発表された第3四半期決算にて、通期純利益予想を上方修正し、配当も増額しました。				
3	1980	ダイダン	4.3%	0.48%	
	「光と空気と水のエンジニアリング」を掲げる総合設備工事会社です。特に医療機関やデータセンター、半導体工場などの高精度な空調設備（クリーンルーム等）に強みがあります。旺盛な再開発需要や半導体工場建設に伴う受注が堅調です。				
4	4023	クレハ	4.2%	0.44%	
	高機能樹脂（PVDF等）や農薬、医薬品を手掛ける化学メーカー。リチウムイオン電池（LiB）向けのバインダー樹脂で世界的に高いシェアを誇ります。2026年3月期はV字回復の予想です。LiB用バインダーの在庫調整が一巡し、需要が回復。				
5	4028	石原産業	5.7%	0.38%	
	酸化チタン（顔料）と農薬を主軸とする化学メーカーです。無機化学（酸化チタン国内首位）と有機化学（除草剤・殺虫剤などの農薬）の二本柱で展開しています。海外向けの農薬販売が非常に好調で、2026年3月期の通期予想を上方修正しました。				

## ■SAMURAI 25の目的・特色

### 1. 目的

予測が困難な市場構造の変化（金利・為替などの外部要因）の影響を極力排除し、TOPIXを凌駕するパフォーマンスを目指します。

### 2. 戦略の特色

特色 1：市場構造の予測を必要としない、全てのレジームで機能する汎用性の高いマルチファクターモデルによるクオンツ運用を行います。

特色 2：東証プライム市場に上場する約1,600銘柄の詳細な市場及び財務データを活用します。

特色 3：銘柄選択において、「高収益・高成長」×「財務健全」×「割安・高配当」×「好業績」のバランスの良いモデルを活用します。

特色 4：組入れ銘柄数は20～25銘柄程度の集中投資、業種分散は市場構成比並みとし、リスクはTOPIX ±15%程度となるよう毎月リスク調整のリバランスを行います。

### 3. 戦略のコンセプト

#### ・SAMURAI 25のコンセプトは、誰もできない将来の予測よりも、

「リスク管理と損失回復力を重視した運用で資産を成長させる」ことにあります。



#### ・損失の回復力が運用にとって極めて重要な理由は、

「損失よりも、利益が大きい投資」を続けていけば、いずれ利益が損失を上回る確率が高い運用となるためです。

#### ・回復力を示す運用指標ソルティノ・レシオ※を最大化

ソルティノ・レシオの最大化のために、AI にファクターの組み合わせを見つけ出させた結果、下記が、市況の予測を必要とせず、全ての市況で機能することが分かりました。

※ソルティノ・レシオとは、リターンの方リスクのみの標準偏差を利用し損失のみに注目して効率を評価する尺度です。

計算式は、年率換算リターン／年率換算下方リスク。

「高収益・高成長」×「財務健全」×「割安・高配当」×「好業績」

#### 4. ファクターの説明

SAMURAI 25は、ファクターに基づく運用を行っており、ファクターは以下を採用しています。

	ファクター	代表的ファクター構成指標
1	収益性	売上高営業利益率、ROE、ROA、等
2	成長性	売上高成長率、経常利益成長率、等
3	財務健全性	財務レバレッジ、CF負債比、等
4	割安性	経常利益株価比、自己資本株価比、等
5	予想修正サプライズ	経常利益修正率、等
6	株主還元性	配当利回り、等
7	規模	上場時価総額、等
8	流動性	売買代金20日平均、等
9	ヒストリカルボラティリティ	ヒストリカルボラティリティ60日、等
10	騰落率	60日騰落率、等
11	為替感応度	ドル円に対する感応度

#### 5. リスク管理

SAMURAI 25は、回復力が高いポートフォリオを構築する際の最適化条件として、

- ① 銘柄数を、20～25 銘柄としています
- ② 1 銘柄、10%以上保有しないようにしています
- ③ 特定業種に偏重しないようにしています
- ④ 上記の様な、十分なリスク分散を考慮した上で、損失回復力が最大となるよう、AI による最適化を行っています
- ⑤ また、エクスポージャーを監視し、ポートフォリオのリスク特性を維持するよう、定期的にリバランスを行いリスク管理を行っています

以上

※本レポートは、2026年 2月6日時点の情報に基づき作成されております。

(提供：株式会社スマートプラス)



## 免責事項

### ご留意事項

「WEALTH GROWTH」は、株式会社スマートプラスが提供する投資一任運用サービスです。Ｊトラストグローバル証券株式会社は「WEALTH GROWTH」の業務委託先として、お客様と株式会社スマートプラスとで交わす投資一任契約締結の媒介を行っております。

「WEALTH GROWTH」へのお申込、契約、お取引に関するお客様の情報に関して、株式会社スマートプラスより当社は媒介業務の範囲で業務委託先として個人情報の共有を受けております。

#### <業務内容について>

Ｊトラストグローバル証券株式会社は、本サービスにおける株式会社スマートプラスとお客様との間の投資一任契約の締結に係る媒介を行う役割を担い、以下の業務を行います。株式会社スマートプラスは、投資運用業を行う役割を担い、以下の業務を行います。

#### 【Ｊトラストグローバル証券株式会社】

- ・ 対面または電話等による投資一任契約等および投資一任サービスの内容の説明や契約締結の媒介に係る勧誘
- ・ 口座開設画面や投資一任運用サービス画面への誘導・操作の案内
- ・ 入金状況・取引状況に関するお客さまから照会への対応
- ・ 株式会社スマートプラスからお客さまに提供される各種報告書等に関するお客さまからの照会への対応
- ・ 株式会社スマートプラスから提供されると投資一任運用サービスに係るシステム等を経由して取得可能な情報に基づくお客さまからの照会等への対応（入出金日、取引日、個別銘柄の売買内容等）
- ・ 投資一任運用サービスに基づきお客さまに提供されるポートフォリオのパフォーマンス、組入銘柄の内容やパフォーマンス等に関する客観的な情報等の提供

#### 【株式会社スマートプラス】

- ・ 投資一任契約の説明および締結（契約締結前書面、契約締結時書面の交付）
- ・ 入出金に係る手続き
- ・ 投資一任運用サービスに係る運用ポートフォリオの構築・リバランスに係る売買の執行
- ・ 取引および残高に係る報告および運用に係る報告

### 重要事項

#### <手数料など諸費用について>

「WEALTH GROWTH」をお客様が利用するに当たり、以下の手数料を負担していただきます。詳細は、株式会社スマートプラスが電磁的方法等によりする契約締結前交付書面等にてご確認ください。

- ・ 購入時手数料（運用コース増額申込時に、増額金額に対して負担していただく費用です。投資環境の説明や情報提供等、ならびに契約締結に必要な事務コストの対価としてお支払いいただく費用となり、業務委託を行っている場合、株式会社スマートプラスから業務委託先に支払う費用が含まれます。）

- サービス利用料（運用資産の時価評価額に対し負担していただく費用です。ポートフォリオのリバランス（銘柄の入れ替え等）、各種レポートや報告書の作成等、およびシステム運営等に必要なコストの対価としてお支払いいただく費用となります。）

#### <投資一任契約（ウェルスグロース）に係るリスクについて>

本サービスにおける投資一任契約に基づく運用は、値動きのある有価証券（米国株式または日本株式の個別銘柄）を投資対象としているため、当該有価証券の上場市場における取引価格の変動や為替の変動等により運用資産の価値が変動します。従って、本サービスは投資元本が保証されるものではなく、投資一任契約に基づきお客様からお預かりした資産の当初の評価額（投資元本）を下回ることがあります。本サービスにおける主なリスクは以下のとおりです。ご契約に当たっては契約締結前交付書面をよくご確認ください。

#### 【相場変動リスク】

お客様が所有するポートフォリオを構成する米国または日本の上場株式（コースにより異なります。以下、「上場株式」という。）は、株式相場、金利水準、為替相場、不動産相場、商品相場等の変動に伴い価格が変動します。本サービスは、その影響を受けてお客様が所有するポートフォリオの時価評価額が大きく変動し、投資元本を割り込む場合があります。

#### 【信用リスク】

お客様が所有するポートフォリオを構成する上場株式の発行者などの信用状況に変化が生じた場合、当該上場株式の市場価格が変動することによってお客様が所有するポートフォリオの時価評価額が大きく変動し、投資元本を割り込む場合があります。

#### 【流動性リスク】

上場株式は、市場環境の変化等により取引に支障をきたし、売却できない場合があります。本サービスはその影響を受けて換金できないリスクがあります。

#### 【カントリーリスク】

通貨を発行する国家固有の政治的・経済的な変動等により投資元本を割込んだり、途中売却が困難になる可能性があります。また、政府等による突発的な取引規制が行われた場合、円を含む他通貨への交換に影響がでる可能性があります。

#### 【為替リスク】（米国株式コースおよび米ドル預かり金のみ）

本サービスにおける投資一任契約に基づき投資運用される米国上場株式および米ドル預かり金（以下、「米国上場株式等」という。）は、為替相場（円貨と外貨の交換比率）が変化することにより、為替相場が円高になる過程では円貨換算した価値は下落し、逆に円安になる過程では円貨換算した価値は上昇します。したがって、お客様が所有するポートフォリオを構成する米国上場株式等の日々の円貨換算の時価評価時および売却時の為替相場の状況によっては為替差損が生じるおそれがあります。本サービスは、その影響を受けてお客様が所有するポートフォリオの時価評価額が大きく変動し、投資元本を割り込む場合があります。また、本サービスにおける各種手数料等の費用の徴収に伴い為替取引を行う際に、為替相場の変動により円貨換算した費用の額は変動します。

<p>【投資一任契約の媒介業者】</p>  <p>Jトラストグローバル証券株式会社 金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第35号 加入協会／ 日本証券業協会 一般社団法人日本投資顧問業協会</p>	<p>【口座管理機関】</p>  <p>株式会社スマートプラス 金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第3031号 加入協会／ 日本証券業協会 一般社団法人日本投資顧問業協会 一般社団法人第二種金融商品取引業協会</p>
--	---